

横浜市立瀬谷第二小学校 学校評価報告書 (平成28～30年度)

重点取組	平成28年度		重点取組	平成29年度		重点取組	平成30年度		
	具体的取組	自己評価結果		具体的取組	自己評価結果		具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①相手意識や目的意識をもたせるために、学校の特色であるペア学習活動を活用し、学習活動を総合的に取り組んでいくようにする。②児童の課題に応じた家庭学習の内容を考え、家庭と協力していくようにする。③各教科でペア学習を取り入れ、児童の言語活動を保証するようにする。	①ペア学習活動では、思いやりの気持ちをもって相手に伝える方法を考え、実践することができた。②児童の課題に応じたスキルアップをめざしているが、家庭での基本的な生活について課題がある。③各教科の中で積極的にペア学習を取り入れ、アクテラニングにつながる主体的な学習を少しずつ実践することができた。	①相手意識や目的意識をもたせるために、学校の特色であるペア学習活動を活用し、学習活動を総合的に取り組んでいくようにする。②児童の課題に応じた家庭学習の内容を考え、家庭と協力していくようにする。③各教科でペア学習を取り入れ、児童の言語活動を保証するようにする。	①ペア学習活動が軌道にのり、思いやりの気持ちをもって相手に伝える方法を具体的に考え、実践することができた。②児童の課題に応じてスキルアップをめざしているが、家庭での基本的な生活について課題がある。③各教科の中で積極的にペア学習を取り入れ、自覚を促した主体的な学習を少しずつ実践することができた。	①相手意識や目的意識をもたせるために、学校の特色であるペア学習活動を活用し、学習活動を総合的に取り組んでいくようにする。②各学年で学力状況調査の分析に基づいて、基礎・基本の定着を目指した指導をする。③各教科でペア学習グループでの学習を取り入れ、児童の言語活動を保証するようにする。	①ペア学習活動が軌道にのり、思いやりの気持ちをもって相手に伝える方法を具体的に考え、実践することができた。②児童の課題に応じてスキルアップをめざしているが、家庭での基本的な生活について課題がある。③各教科の中で積極的にペア学習を取り入れ、あめを促した主体的な学習を少しずつ実践することができた。	確かな学力	確かな学力	確かな学力
豊かな心	①研究授業を伴った人権・道徳教育の指導力向上に努め、体験を通して、他者とのかわりや自己を見つめ、規範意識や自尊感情を高められるよう、多様な体験活動を推進する。②ペア学習活動や総合的学習の時間をはじめ、様々な活動の中で、異学年、地域の人とのふれあいを大切に育てる。	①研究授業を伴い、人権・道徳教育の指導力向上に努めた。教職員の研修や、児童対象の人権教室を実践し、児童理解を深め、人権意識を高めるように努めた。②たてわりペアを生かした活動を進め、相手意識を高めた。あいさつ力、コミュニケーション力にはまだ課題があり、豊かな心につながる継続指導が必要である。	①研究授業を伴った人権・道徳教育の指導力向上に努め、体験を通して、他者とのかわりや自己を見つめ、規範意識や自尊感情を高められるよう、多様な体験活動を推進する。②ペア学習活動や総合的学習の時間をはじめ、様々な活動の中で、異学年、地域の人とのふれあいを大切に育てる。	①教職研修や、児童対象の人権教室を実践し、児童理解を深めながら人権意識を高められるように努めた。また、講師を招請した研究授業を伴い、道徳教育の指導力向上に努めた。②たてわりペアを生かした活動を進め、相手意識を高めた。あいさつ力、コミュニケーション力にはまだ課題があり、豊かな心につながる継続指導が必要である。	①研究授業を伴った人権・道徳教育の指導力向上に努め、体験を通して、他者とのかわりや自己を見つめ、規範意識や自尊感情を高められるよう、多様な体験活動を推進する。②ペア学習活動や総合的学習の時間をはじめ、様々な活動の中で、異学年、地域の人とのふれあいを大切に育てる。	①教職研修や、児童対象の人権教室を実践し、児童理解を深めながら人権意識を高められるように努めた。また、講師を招請した研究授業を伴い、道徳教育の指導力向上に努めた。②たてわりペアを生かした活動を進め、相手意識を高めた。あいさつ力、コミュニケーション力にはまだ課題があり、豊かな心につながる継続指導が必要である。	豊かな心	豊かな心	豊かな心
健やかな体	①一校一実践として、「わくわく持久走」に取り組む。また、短縮では音楽に合わせて跳んだり、長縄の集まりをしながら体力向上を図る。②お互いに誘い合いながら外へ出て遊ぶことを奨励し、心身共に健康で明るい生活を送れるようにする。健康安全の日の放送を通して、自らの健康に関心をもち、実践する意欲を育てる。	①低中高別に年間を通して持久走に取り組んだ。継続して取り組んだことで同じペースで継続して走る力や持久力が高まった。②担任による外遊びの呼びかけによって多くの子どもが健康の心で、遊ぶ姿が見られた。健康安全の日の放送で、食事や運動など健康な視点からの健康に関する知識を得て、実践する意欲を育てることができた。	①一校一実践として、「わくわく持久走」に取り組む。また、短縮では音楽に合わせて跳んだり、長縄の集まりをしながら体力向上を図る。②お互いに誘い合いながら外へ出て遊ぶことを奨励し、心身共に健康で明るい生活を送れるようにする。健康安全の日の放送を通して、自らの健康に関心をもち、実践する意欲を育てる。	①持久走は、ほぼ計画通り実施でき、楽しそうに走る姿が見られた。長縄集会では、クラス全体の体力向上だけでなく、子供たちにも効果があった。②お互いに誘い合いながら遊ぶことで、児童の健康意識が高まった。また、児童は真剣に健康安全の健康に関する放送を見て、手洗いの仕方など、放送の内容を実践する姿が見られた。	①一校一実践として、「わくわく持久走」に取り組む。また、長縄集会に向けて練習をし、体力向上を図る。②お互いに誘い合いながら外へ出て遊ぶことを奨励し、心身共に健康で明るい生活を送れるようにする。健康安全の日の放送を通して、自らの健康に関心をもち、実践する意欲を育てる。	①わくわく持久走は、3年目になり、子どもたちにとって習慣化しており、いきいきと走る姿が見られた。長縄集会に向け、各クラスであめを立、楽しみながら取り組んでいる。②校庭の使用のルールを守りながら、多くの児童が元気に遊んでいた。また、健康安全の放送を見て、歯磨きの仕方を見直したり、進んで歯磨きに取り組もうとした姿が見られた。	健やかな体	健やかな体	健やかな体
キャリア教育	①教師からの提案を基に、児童が意見交換をしながら選択し、決定する機会を多く設定していくようにする。また、児童自身で考え実践したことを認め、価値付けしていくことを繰り返し、児童に達成感を味わわせるようにする。②たくさんの人との関わりをもつ機会を増やし、人となつがるよさを実感させ、あいさつや礼儀正しさを必要とする重要性を体感させるようにする。	①話し合い活動を通して意見交換をしながら集団決定する機会を設けた。自分の考えを進んで実践しようとする態度が身についてきている。②社会科や道徳、横浜の時間などで地域の様々な人々とかわり合うことができた。あいさつや礼儀正しさを必要とする重要性を体感させるようにする。	①教師からの提案を基に、児童が意見交換をしながら選択し、決定する機会を多く設定していくようにする。また、児童自身で考え実践したことを認め、価値付けしていくことを繰り返し、児童に達成感を味わわせるようにする。②たくさんの人との関わりをもつ機会を増やし、人となつがるよさを実感させ、あいさつや礼儀正しさを必要とする重要性を体感させるようにする。	①話し合い活動を通して意見交換をしながら集団決定する機会を多く設定していくようにする。また、児童自身で考え実践したことを認め、価値付けしていくことを繰り返し、児童に達成感を味わわせるようにする。③キャリア教育活動でも取り上げ、あいさつや礼儀正しさを必要とする重要性を必要とする重要性を体感させるようにする。	①教師からの提案を基に、児童が意見交換をしながら選択し、決定する機会を多く設定していくようにする。また、児童自身で考え実践したことを認め、価値付けしていくことを繰り返し、児童に達成感を味わわせるようにする。②児童会活動を取り上げ、接し合いの取り組みを通して、気持ちをこめて挨拶することができるようになってきた。様々な学習で、地域の様々な人々と関わり合い、感謝することができた。	①話し合い活動を通して意見交換をしながら集団決定する機会を多く設定していくようにする。また、児童自身で考え実践したことを認め、価値付けしていくことを繰り返し、児童に達成感を味わわせるようにする。②キャリア教育活動を取り上げ、接し合いの取り組みを通して、気持ちをこめて挨拶することができるようになってきた。様々な学習で、地域の様々な人々と関わり合い、感謝することができた。	キャリア教育	キャリア教育	キャリア教育
特別支援教育	①コンサルテーションを行って、支援の在り方を研修する。特別支援教室の振り返りを進め、支援の在り方を研修することができ、学習に集中できる環境を作る。誰にでも分かる授業のために、学習の流れが見える板書に努める。③教科担任制の取組、中学校教育による授業を受ける。幼保との情報交換や連携をもとに、スタートカリキュラムの充実を図る。	①全学年のコンサルテーションは、できなかったが、該当学年の見取りができ、支援の在り方を研修することができた。②ユニバーサルデザイン教育を意図し、環境整備に努めた。③学級だけの問題とせず、学年、学校が支援する体制をとりながら授業を進めた。中・小との連携、幼保との情報交換を図ることができた。	①コンサルテーションを行って、支援の在り方を研修する。特別支援教室の振り返りを進め、支援の在り方を研修することができ、学習に集中できる環境を作る。誰にでも分かる授業のために、学習の流れが見える板書に努める。③教科担任制の取組、中学校教育による授業を受ける。幼保との情報交換や連携をもとに、スタートカリキュラムの充実を図る。	①全学年のコンサルテーションは、できなかったが、該当学年の見取りができ、支援の在り方を研修することができた。②ユニバーサルデザイン教育を意図し、環境整備に努めた。③学級だけの問題とせず、学年、学校が支援する体制をとりながら授業を進めた。中・小との連携、幼保との情報交換を図ることができた。	①コンサルテーションを行って、支援の在り方を研修する。特別支援教室の振り返りを進め、支援の在り方を研修することができ、学習に集中できる環境を作る。誰にでも分かる授業のために、学習の流れが見える板書に努める。③教科担任制の取組、中学校教育による授業を受ける。幼保との情報交換や連携をもとに、スタートカリキュラムの充実を図る。	①コンサルテーションや、校内研修を通して、共通理解を図り、児童の取組や支援に努めた。②ユニバーサルデザイン環境を意図し、環境整備に努めた。③学級だけの問題とせず、学年、学校が支援する体制をとりながら授業を進めた。中・小との連携、幼保との情報交換を図ることができた。	特別支援教育	特別支援教育	特別支援教育
児童指導	①専任を中心とした組織的な対応、情報の共有化に努め、問題行動に迅速に対応する。早期発見、早期対応、未然防止に努める。②児童のニーズに合わせた支援が多くの職員でできるように、アセスメントシート・個別の指導計画・個別の教育計画を活用する。トラブル未然防止のためのYPAセグメントシートを共有する。	①児童支援専任を中心に組織的に対応し、情報の共有化に努め、問題行動にも迅速に対応することができた。②児童のニーズに合わせた支援が多くの職員でできるように、アセスメントシート・個別の指導計画・個別の教育計画を活用する。トラブル未然防止のためのYPAセグメントシートを共有する。	①専任を中心とした組織的な対応、情報の共有化に努め、問題行動に迅速に対応する。早期発見、早期対応、未然防止に努める。②児童のニーズに合わせた支援が多くの職員でできるように、アセスメントシート・個別の指導計画・個別の教育計画を活用する。トラブル未然防止のためのYPAセグメントシートを共有する。	①児童支援専任を中心に組織的に対応し、情報の共有化に努め、問題行動にも迅速に対応することができた。②児童のニーズに合わせた支援が多くの職員でできるように、アセスメントシート・個別の指導計画・個別の教育計画を活用する。トラブル未然防止のためのYPAセグメントシートを共有する。	①専任を中心とした組織的な対応、情報の共有化に努め、問題行動に迅速に対応する。早期発見、早期対応、未然防止に努める。②児童のニーズに合わせた支援が多くの職員でできるように、アセスメントシート・個別の指導計画・個別の教育計画を活用する。トラブル未然防止のためのYPAセグメントシートを共有する。	①児童支援専任を中心に組織的に対応し、情報の共有化に努め、問題行動にも迅速に対応することができた。②児童のニーズに合わせた支援が多くの職員でできるように、アセスメントシート・個別の指導計画・個別の教育計画を活用する。トラブル未然防止のためのYPAセグメントシートを共有する。	児童指導	児童指導	児童指導
地域との連携	①5年生総合(米作り)、3年生総合(昔の暮らし)、クラブボランティアなど、地域の力を取り入れる。②児童・職員のみならず、地域の行事への参加を奨励する。③学校だよりなどをホームページで公開するなど、地域への情報発信に努める。	①今年も地域の方には大変協力をいただき、総合的な学習を進めていくことができた。②児童がふるさと祭りに出演するなど、学校からの奨励に応じて楽しんでいった。職員も実行委員会からのかかりをもちPTAと協力しながら活動に携わった。③学校だよりで、学校の様子や、地域の方の学校の活動を紹介することができた。	①5年生総合(米作り)、3年生総合(昔の暮らし)、クラブボランティアなど、地域の力を取り入れる。②児童・職員のみならず、地域の行事への参加を奨励する。③学校だよりなどをホームページで公開するなど、地域への情報発信に努める。	①今年も地域の方には大変協力をいただき、総合的な学習を進めていくことができた。②児童がふるさと祭りに出演するなど、学校からの奨励に応じて楽しんでいった。職員も実行委員会からのかかりをもちPTAと協力しながら活動に携わった。③学校だよりで、学校の様子や、地域の方の学校の活動を紹介することができた。	①5年生総合(米作り)、3年生総合(昔の暮らし)、クラブボランティアなど、地域の力を取り入れる。②児童・職員のみならず、地域の行事への参加を奨励する。③学校だよりなどをホームページで公開するなど、地域への情報発信に努める。	①今年も地域の方には大変協力をいただき、総合的な学習を進めていくことができた。②児童がふるさと祭りに出演するなど、学校からの奨励に応じて楽しんでいった。職員も実行委員会からのかかりをもちPTAと協力しながら活動に携わった。③学校だよりで、学校の様子や、地域の方の学校の活動を紹介することができた。	地域との連携	地域との連携	地域との連携
いじめへの対応	①特色ある教育活動(ペア活動)の推進を自己有用感を感じられる学校風土をつくる。②YPAセグメントシートやアンケートを実施し、いじめを見逃さない体制をつくる。③速やかに正確な情報収集を行い、全職員で情報共有し、指導・支援にあたる。④道徳教育、人権教育では、児童に自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習をする。	①ペア学習での活動を通して、お互いに認め合うことができた。②アンケートを実施し、いじめを見逃さない体制をつくる。③全職員で共通理解し、指導・支援を行うことで、解決に向けて迅速に取り組むことができた。④道徳学習や人権学習では、自己を見つめ、自らの考えを深める力を育む学習をする。	①特色ある教育活動(ペア活動)の推進を自己有用感を感じられる学校風土をつくる。②YPAセグメントシートやアンケートを実施し、いじめを見逃さない体制をつくる。③速やかに正確な情報収集を行い、全職員で情報共有し、指導・支援にあたる。④道徳教育、人権教育では、児童に自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習をする。	①ペア学習での活動を通して、お互いに認め合うことができた。②アンケートを実施し、いじめを見逃さない体制をつくる。③全職員で共通理解し、指導・支援を行うことで、解決に向けて迅速に取り組むことができた。④道徳学習や人権学習では、自己を見つめ、自らの考えを深める力を育む学習をする。	①特色ある教育活動(ペア活動)の推進を自己有用感を感じられる学校風土をつくる。②YPAセグメントシートやアンケートを実施し、いじめを見逃さない体制をつくる。③速やかに正確な情報収集を行い、全職員で情報共有し、指導・支援にあたる。④道徳教育、人権教育では、児童に自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習をする。	①ペア学習での活動を通して、お互いに認め合うことができた。②アンケートを実施し、いじめを見逃さない体制をつくる。③全職員で共通理解し、指導・支援を行うことで、解決に向けて迅速に取り組むことができた。④道徳学習や人権学習では、自己を見つめ、自らの考えを深める力を育む学習をする。	いじめへの対応	いじめへの対応	いじめへの対応
人材育成・組織運営	①重点研では学級づくりについて、各学級の具体的な取り組みを見たり、聞いたりしながら研究を積み重ねていくような環境にしたい。また、学年研では学年での教材研究の時間を確保していくように意識する。②授業参観を積極的に進め、保護者と意見を伝え合うようにする。また、具体的な取り組みを提案することにより一緒に実践し、検証していく。	①互いの授業を見合うことで、授業改善を図ることができた。今年度の重点研では学級づくりを位置付けておりそれが生きた学級経営を実践することができた。②授業参観を通して見えてきた指導法や掲示物など、先輩から助言を行うようにし、指導の改善を図ることができた。	①重点研では学級づくりについて、各学級の具体的な取り組みを見たり、聞いたりしながら研究を積み重ねていくような環境にしたい。また、学年研では学年での教材研究の時間を確保していくように意識する。②授業参観を積極的に進め、保護者と意見を伝え合うようにする。また、具体的な取り組みを提案することにより一緒に実践し、検証していく。	①重点研では学級づくりについて、各学級の具体的な取り組みを見たり、聞いたりしながら研究を積み重ねていくような環境にしたい。また、学年研では学年での教材研究の時間を確保していくように意識する。②授業参観を積極的に進め、保護者と意見を伝え合うようにする。また、具体的な取り組みを提案することにより一緒に実践し、検証していく。	①重点研では学級づくりについて、各学級の具体的な取り組みを見たり、聞いたりしながら研究を積み重ねていくような環境にしたい。また、学年研では学年での教材研究の時間を確保していくように意識する。②授業参観を積極的に進め、保護者と意見を伝え合うようにする。また、具体的な取り組みを提案することにより一緒に実践し、検証していく。	①重点研では学級づくりについて、各学級の具体的な取り組みを見たり、聞いたりしながら研究を積み重ねていくような環境にしたい。また、学年研では学年での教材研究の時間を確保していくように意識する。②授業参観を積極的に進め、保護者と意見を伝え合うようにする。また、具体的な取り組みを提案することにより一緒に実践し、検証していく。	人材育成・組織運営	人材育成・組織運営	人材育成・組織運営
ブロック内相互評価後の気づき	・様々なスタイルのペア活動や話し合いを軸に、主体的な学習活動や、多様なふれあいを大切に実践を進めることができた。 ・挨拶運動や持久走への取り組みを通して、規則正しい生活や自ら進んで健康を維持しようとする態度を育成することができた。 ・地域・関係機関との連携とともに、職員の特別支援への理解が進み、授業および児童指導への成果を上げることができた。	・人権教室などを実施し、児童の人権意識が高まってきた。たてわりペアの活動を進め、他者を思いやる気持ちが育ってきた。 ・児童支援専任を中心に組織的に迅速に対応し、児童の規範意識の向上に貢献できた。 ・総合的な学習などを通して、地域との交流を進め、地域との連携が進んできた。 ・確かな学力の具体的な目標を達成した取り組みをした。 ・中学校で力を入れているあいさつ活動は、小・中連携につながる取り組みである。 ・教師の道徳研修や子どもの人権学習が、子どもの成長につながり、学級づくりに生きている。	・様々なスタイルのペア活動や話し合いを軸に、主体的な学習活動や、多様なふれあいを大切に実践を進めることができた。 ・挨拶運動や持久走への取り組みを通して、規則正しい生活や自ら進んで健康を維持しようとする態度を育成することができた。 ・地域・関係機関との連携とともに、職員の特別支援への理解が進み、授業および児童指導への成果を上げることができた。	・人権教室などを実施し、児童の人権意識が高まってきた。たてわりペアの活動を進め、他者を思いやる気持ちが育ってきた。 ・児童支援専任を中心に組織的に迅速に対応し、児童の規範意識の向上に貢献できた。 ・総合的な学習などを通して、地域との交流を進め、地域との連携が進んできた。 ・確かな学力の具体的な目標を達成した取り組みをした。 ・中学校で力を入れているあいさつ活動は、小・中連携につながる取り組みである。 ・教師の道徳研修や子どもの人権学習が、子どもの成長につながり、学級づくりに生きている。	・児童が主体的に取り組んだ挨拶運動を通して、進んで挨拶をする気持ちが育っている。 ・総合的な学習や地域の行事において、地域との連携が進み、豊かな学校運営に繋がっている。 ・中学校との連携、地域との連携を進め、児童生徒理解や指導体制づくりが進んでいる。 ・特色ある教育活動(ペア活動)の実践を通して、主体的な学習実践へ向けた取り組みがしっかりと行われている。さらに、他者を思いやる気持ち、お互いの自己有用感を大切にしている学校風土づくりが進んでいる。	・児童が主体的に取り組んだ挨拶運動を通して、進んで挨拶をする気持ちが育っている。 ・総合的な学習や地域の行事において、地域との連携が進み、豊かな学校運営に繋がっている。 ・中学校との連携、地域との連携を進め、児童生徒理解や指導体制づくりが進んでいる。 ・特色ある教育活動(ペア活動)の実践を通して、主体的な学習実践へ向けた取り組みがしっかりと行われている。さらに、他者を思いやる気持ち、お互いの自己有用感を大切にしている学校風土づくりが進んでいる。	ブロック内相互評価後の気づき	ブロック内相互評価後の気づき	ブロック内相互評価後の気づき
学校関係者評価	・YPAセグメントシートなどを使って、子どもたち一人ひとりに応じた支援を行っていることが、「学校が楽しい」という意識につながっている。 ・あいさつ運動の成果として、見守り合いの地域の方々へのあいさつが増えてきている。 ・子どもたちが困ったときに、相談できる人がいるという意識を育てたい。 ・地域行事への体験的な活動への参加を今後も呼びかけていきたい。 ・家庭環境に対する啓蒙の必要性が高まっている。	・子どもたちが、あめをもち頑張っている様子が見られた。 ・自己有用感を持ち社会参加しながら、自分が社会に求められていることを感じてほしい。 ・人権週間や「ふわふわ言葉」の取り組みは子どもたちの心を育てることにつながる。	・YPAセグメントシートなどを使って、子どもたち一人ひとりに応じた支援を行っていることが、「学校が楽しい」という意識につながっている。 ・あいさつ運動の成果として、見守り合いの地域の方々へのあいさつが増えてきている。 ・子どもたちが困ったときに、相談できる人がいるという意識を育てたい。 ・地域行事への体験的な活動への参加を今後も呼びかけていきたい。 ・家庭環境に対する啓蒙の必要性が高まっている。	・子どもたちが、あめをもち頑張っている様子が見られた。 ・自己有用感を持ち社会参加しながら、自分が社会に求められていることを感じてほしい。 ・人権週間や「ふわふわ言葉」の取り組みは子どもたちの心を育てることにつながる。	・子どもたちが、あめで見守りたいの方々に会って、すすんで挨拶する姿が見られるようになった。また、地域へ向けての意識をもてる総合的取り組みもあり、「ふるさとまつり」への参加するなど、積極性がみられた。今後も、「自分たちの地域をより良くしていきたい」という気持ちを大切に育ててほしい。 ・ペア学習活動により、お互いの気持ちを思いやる心が育っている。今後もコミュニケーション能力を育てることは大切である。	・子どもたちが、あめで見守りたいの方々に会って、すすんで挨拶する姿が見られるようになった。また、地域へ向けての意識をもてる総合的取り組みもあり、「ふるさとまつり」への参加するなど、積極性がみられた。今後も、「自分たちの地域をより良くしていきたい」という気持ちを大切に育ててほしい。 ・ペア学習活動により、お互いの気持ちを思いやる心が育っている。今後もコミュニケーション能力を育てることは大切である。	学校関係者評価	学校関係者評価	学校関係者評価
学校経営中期取組目標振り返り	・ペア学習活動への取り組みは2年目となり、お互いの気持ちを思いやる活動がより具体的になり、児童の意欲も高まっている。 ・中体の持久走を始めたが、走ることに楽しさを感じている様子があり、運動への関心が高まっている。 ・ペア学習で、自分の思いを伝えることに意欲をもつことが学習は話し合いへの意欲につながっている。基礎力の定着を表現力・思考力につなげていきたい。	・重点研究での特活の取り組みを通して、子どもたちが自分たちのクラスを大切に思い、主体的に活動していくことができた。ペア活動や話し合い活動により、相手意識を持った言語活動を積み重ね、自己有用感につながることができた。 ・ペア学習活動で互いに思いやりをもちあつた活動の積み重ねることができた。 ・あいさつ運動(定着)・児童会でのあいさつ運動を活動にする提案がされている。さらに色々な活動を通して、自己決定していく力を育てていきたい。	・ペア学習活動への取り組みは2年目となり、お互いの気持ちを思いやる活動がより具体的になり、児童の意欲も高まっている。 ・中体の持久走を始めたが、走ることに楽しさを感じている様子があり、運動への関心が高まっている。 ・ペア学習で、自分の思いを伝えることに意欲をもつことが学習は話し合いへの意欲につながっている。基礎力の定着を表現力・思考力につなげていきたい。	・重点研究での特活の取り組みを通して、子どもたちが自分たちのクラスを大切に思い、主体的に活動していくことができた。ペア活動や話し合い活動により、相手意識を持った言語活動を積み重ね、自己有用感につながることができた。 ・ペア学習活動で互いに思いやりをもちあつた活動の積み重ねることができた。 ・あいさつ運動(定着)・児童会でのあいさつ運動を活動にする提案がされている。さらに色々な活動を通して、自己決定していく力を育てていきたい。	・重点研究での特活の取り組みを通して、子どもたちが自分たちのクラスを大切に思い、主体的に活動していくことができた。ペア活動や話し合い活動により、相手意識を持った言語活動を積み重ね、自己有用感につながることができた。 ・ペア学習活動で互いに思いやりをもちあつた活動の積み重ねることができた。 ・あいさつ運動(定着)・児童会でのあいさつ運動を活動にする提案がされている。さらに色々な活動を通して、自己決定していく力を育てていきたい。	・重点研究での特活の取り組みを通して、子どもたちが自分たちのクラスを大切に思い、主体的に活動していくことができた。ペア活動や話し合い活動により、相手意識を持った言語活動を積み重ね、自己有用感につながることができた。 ・ペア学習活動で互いに思いやりをもちあつた活動の積み重ねることができた。 ・あいさつ運動(定着)・児童会でのあいさつ運動を活動にする提案がされている。さらに色々な活動を通して、自己決定していく力を育てていきたい。	学校経営中期取組目標振り返り	学校経営中期取組目標振り返り	学校経営中期取組目標振り返り

重点取組	具体的取組	平成28年度	自己評価結果
確かな学力		129	<160
豊かな心		137	<160
健やかな体		149	<160
キャリア教育		165	<160
特別支援教育		161	<160
児童指導		146	<160
地域との連携		115	<160
いじめへの対応		0	<160
人材育成・組織運営		160	<160
相互評価後の気づき		174	<265
学校関係者評価		202	<265
学校経営中期目標		183	<265

重点取組	具体的取組	平成29年度	自己評価結果
確かな学力		128	<160
豊かな心		131	<160
健やかな体		149	<160
キャリア教育		166	<160
特別支援教育		161	<160
児童指導		146	<160
地域との連携		115	<160
いじめへの対応		176	<160
人材育成・組織運営		160	<160
相互評価後の気づき		250	<265
学校関係者評価		110	<265
学校経営中期目標		218	<265

重点取組	具体的取組	平成30年度	自己評価結果
確かな学力		138	<160
豊かな心		131	<160
健やかな体		134	<160
キャリア教育		166	<160
特別支援教育		161	<160
児童指導		146	<160
地域との連携		115	<160
いじめへの対応		176	<160
人材育成・組織運営		160	<160
相互評価後の気づき		223	<265
学校関係者評価		200	<265
学校経営中期目標		185	<265